

荒尾市南新地地区温泉探查業務委託 要求水準書

【業務の目的】

荒尾市では、廃止した競馬場の跡地を有効活用し、中心拠点である荒尾駅周辺における先導的な開発地「南新地地区」を新たな都市機能誘導の重点地区として、平成28年度から約34.5haの土地区画整理事業を推進している。令和元年8月に策定された「南新地地区ウェルネス拠点基本構想（以下「基本構想」という。）」では、まちづくりのコンセプトやまちに必要な機能とその連携の方向性が整理され、地区内に立地を予定する道の駅や子育て世代を包括的に支援する施設の整備についても検討が進められている。

こうした行政主導の官民連携による集客拠点整備のほか、特にウェルネス拠点の先進コア街区においては、温浴施設や宿泊施設、運動施設、アウトドア施設などの誘致に加え、市民生活と観光のインフラとしての緑地整備など、様々な事業の検討が進んでいる。

このうちウェルネス拠点の中核的な機能の一つである温浴施設の立地を検討するに当たっては、地下に温泉として利用できる温泉源があるか否かという情報が極めて重要である。よって、南新地地区の温泉探査を実施し、広く公開することで、地下資源特有の開発リスクの低減を図ることにより、南新地地区への温浴施設の立地を促進することを目的とするものである。

【履行期間】

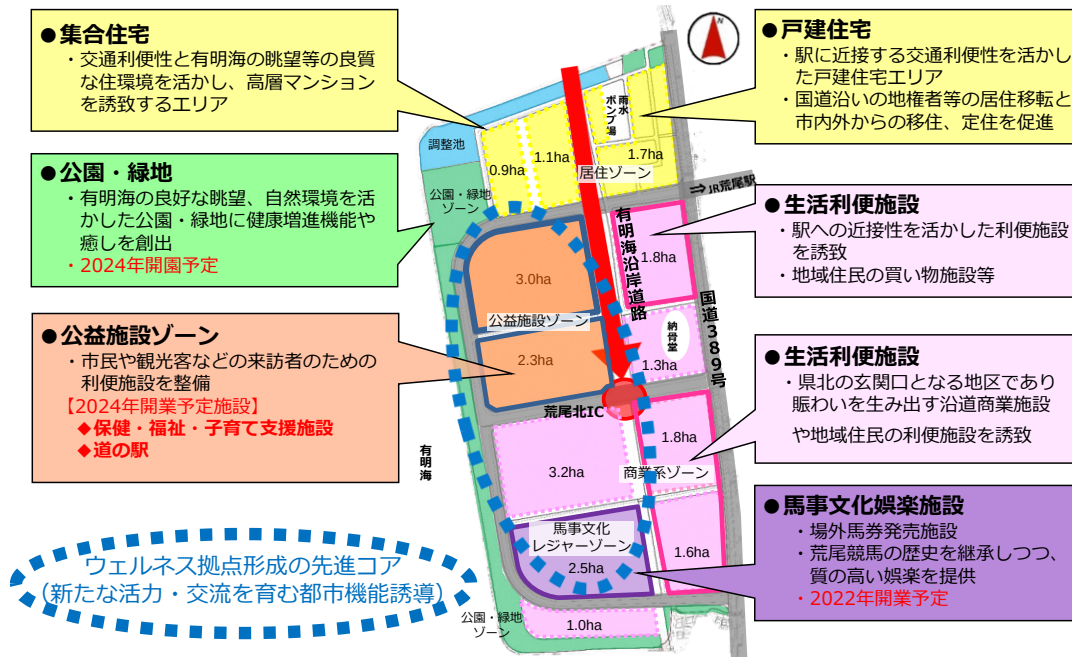
契約日から令和3年10月29日（金）まで

【業務の対象地（以下「調査地」という。）】

荒尾市南新地地区



土地利用方針イメージ



【業務内容】

1 既存資料調査（地質、断層、既存源泉）

- (1) 調査地の地質構造及び調査地周辺の源泉について既存地質文献等資料を収集すること。
- (2) 地形図・地質図などから調査地に分布する地質や活断層の位置を確認し、周辺の源泉データから温泉の賦存層について検討すること。
- (3) 検討結果をもとに調査項目を選定し、探査計画を立案すること。

2 マクロスケール調査

空中写真から断層によって形成された線状構造（リニアメント）の判読を行うこと。

3 ミクロスケール調査

- (1) 調査地の地表に露出する地層、岩盤の種類や分布、断層破碎帯や亀裂、湧水の有無や温泉の兆候を調査すること。
- (2) 物理探査（放射能探査、電磁探査又は電気探査等）を実施し地下地質の状況を調査すること。

4 報告書とりまとめ

上記 1 ～ 3 の調査検討結果を総合的に解析し、掘削深度や掘削地点の考察した結果を報告書にとりまとめ、また、報告書の概要に関する資料を作成する。

5 成果品

以下のものを一般財団法人荒尾産炭地域振興センター事務局に納入する。

なお、成果品一式の著作権は、一般財団法人荒尾産炭地域振興センターに帰属するものとする。

- ・ 報告書及び概要版（A 4 版）各 3 部
- ・ 原稿（電子データを含む）一式
- ・ その他事務局職員の指示するもの一式

6 附則

この仕様書に疑義ある場合及び仕様書に定めのない事項については、一般財団法人荒尾産炭地域振興センター事務局の職員の指示に従い処理するものとする。